

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	<p>研究の名称 「ヒト尿中の覚せい剤成分の超高感度検出法の開発」</p> <p>研究の対象 2019年8月～2023年8月の期間中に、十全会 聖明病院において、 1.入院加療となった者 2.当該試料を研究に用いることについて同意書により同意が得られている者 から、得られた尿試料を研究対象とする。 なお、入院時、尿中簡易薬毒物検査でアンフェタミン類が陽性となった患者を対象とする。</p> <p>研究の目的 本研究の目的は、覚せい剤使用者の尿中から、覚せい剤成分やその代謝物を高感度に分析する方法の開発することです。 覚せい剤の分析には、使用者の尿がよく用いられています。しかし、覚せい剤の使用からある程度時間が経つと、尿からの分析が難しくなってしまいます。よって、時間が経っても尿から覚せい剤を分析できる方法を新しく開発することが本研究の目的です。</p> <p>研究の期間 2019年8月から2023年8月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供 する試料・情報の	研究に使用する試料・情報： 試料：尿

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

項目	
利用する者の範囲	共同研究機関の名称及び研究責任者  十全会 聖明病院 研究責任者：古川 愛造
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究責任者  研究責任者：浜松医科大学法医学講座 長谷川 弘太郎
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 講座：法医学講座 担当者：長谷川 弘太郎 TEL： 053-435-2239 FAX：053-435-2858 E-mail：07484771@hama-med.ac.jp

# 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書